



三月三日（火）、六年生を送る会を行いました。神浦小の六年生にとっては全校で活動することが多いので、在校生とのつながりは、どこよりも濃く、とてもなかよく感じます。

送別集会

卒業をみんなでお祝いしました

みんなですっぽ取りとバレエのレクリエーションを楽しみました。バレエは、みんなで協力してパスを百十六回つなぐことができ、感激しました。お互いの気持ちのこもったプレゼントを交換し、絆の強

さを感じたことでしょう。当日、池島小の児童は残念ながら不参加でしたが、プレゼントを届けてくれて、ありがとうございました。卒業まで残された時間は限られています。卒業式までの期間を「ありがとう」「いいね」でいっぱいにして、さらに「なかよし」で過ごしていきたいでしょう。

三学期は『進んで』を合言葉に、子どもの頑張りを認め指導してきました。子どもたちは、「ありがとう」と言う、「挨拶する」「いいねに気づく」「対話を大切にしたい」「やさしくしたい」「動植物を大切にしたい」等、『進んで』できたことが多くありました。子どもが「できた」↓大人が認める↓子どもがさらに目標をもち、実践する↓このような『好循環』をつくって、共に子どもを育んでいきましよう！

学習発表会

～一年間の成果です～



早いもので、今年度最後の授業参観が二月二十六日（木）に行われました。今年も昨年に引き続き、全校合同で学習発表会を行いました。それぞれの学年が教科を選び、自分たちで考え、全力で発表していた姿が心に残りました。分かりやすくするために、絵や式などを掲示（理科・算数）したり、クイズを出して関心を高め（国語・理科）たりする工夫が見られました。私がかかわった社会は、学んだことからの考えがよく出され、小さなギャグも効いていました。中には、音楽や体育のように全員集合でそれぞれの持ち味を出したり、力を合わせたところもあり、見ごたえがありました。

全員が「一年の成長をみんなに見てもらおう」という意気込みで、日々の練習に励んでいました。その成果をいかになく発揮できたか自負しています。特に、六年生は司会も兼ねていたので大変だったのです。

が、粘り強く頑張っていたと思います。学ぶことの尊さを教えられた一日でした。

校長室から

懇談会

二月二十六日（木）、学級懇談会に引き続き、全体での懇談会を行いました。校長として、保護者の皆様とひざを交えて話すよい機会で、草刈りの期日のこと、養護教諭不在のこと、修学旅行のこと等々、直に意見を聞くことができました。ぜひ、来年度もこのような場をいただき、雑談に近い話から子どもの情報交換をしたいと考えています。もちろん、特に残り少ない六年生の保護者の方は、時機をとらえてお話しできるとうれしいです。「教育は人なり」ー同じ「子どもとかかわる大人」として、出会いを大切にしたいです。